

SS-520 5号機の打上げ結果(安全確保状況)について

平成 30 年(2018)年 3 月 15 日  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
S&MA 総括 小林亮二

1. 報告事項(打上げ結果概要)

超小型衛星「TRICOM-1R」を搭載し、民生技術を用いたロケット・衛星の打上げ実証を行う SS-520 5号機の打上げ実験を、平成 30 年2月3日(土)14 時 03 分(日本標準時)に実施した。SS-520 5 号機は、TRICOM-1R を所定の軌道に投入した。

2. 安全確保の実施結果

JAXA は飛行安全計画、地上安全計画及びその他の要領等に基づき、打上げに係る安全確保業務(射場整備作業の安全、射場周辺の住民への周知、打上げ当日の警戒、ロケットの飛行安全)及び関係機関に対する打上げ情報の通報(ロケット打上げの実施の有無に係る連絡、航空機及び船舶の航行安全のための事前通報並びに打上げ情報の周知)を行った。

ロケットは計画通り飛行し、姿勢、軌道等が、あらかじめ定められた判断基準を全て満たしたため、地上からのコマンドにより、第 2 段モータの点火以降のシーケンスに移行した。

また投棄物(第 1 段モータ、ノーズコーン、ラムライン制御部、第 2 段モータ)は予想落下区域に落下したと推定している。



3. 今後への反映

JAXA は、平成 30 年 2 月 26 日に、飛行後評価解析報告会を開催し、実験結果を総括し、今後への反映事項をとりまとめた。観測ロケット等へ適宜反映する。

以上